



通信
No. 7

～まねしてみよう 友だちのよい学び方！ 見つけよう 自分に合った学び方！～

㊦と㊧のちがいに気を付けよう。

けテぶれの「テスト」と「練習」のちがいをせつ明できますか？
ポイントは、「**かだめし**」をするかどうか、です。
同じべんきょうをするにしても、㊦もあれば㊧もあるんですよ。

たとえば、この書きじゅん。



自分でなにも見ずに1画ずつ
書き出してみる。



漢字ドリルを見て丸つけを
する。

かだめしを
している



漢字ドリルを見ながら
書きじゅんを書く。

㊧は、できなかった問題を、次できるように練習すること。だから㊧に丸つけをしなければいけないことはありません。ただ、算数の問題をとき直したり、もう一度㊦にちょうせんしたりする人もいます。そういうときは、丸つけをしたほうがいいですね。

㊦ができるときはかならずやりましょう！

テとれのちがいを正しく
理かいして、けテぶれを
がんばりましょう！